



監督
藤原 知之

明治大学理工学部卒業後、バラエティー番組、CM、MVのディレクター業務と並行して映画監督・堤幸彦の元で助監督としてキャリアを積み、自身でも多くの番組や映画を手掛けている新進気鋭の監督。

「網膜現像」監督に聞く！

今回の作品でのこだわった点についてお聞かせください。

原作者である小酒井不木さんの作品は100年以上前に書かれたものなので、網膜現像のトリックは画期的なものであったと推察します。なので、その技法や考え方であるミステリアスな部分は残し、ストーリーに至るまでの登場人物の生きざまなどは皆さんで考えていただけるよう、映画監督である自分なりの撮り方で撮影にのぞみました。見たあとの余韻で、その深い部分を感じ取っていただく、それが「映画」であると思っています。

蟹江町について、どのような印象を持たれましたか？

一言で言いますと不思議な町ですね。時代背景をはっきりさせない設定で今回撮影にのぞんだので

すが、ちょっと昔じゃないけど今じゃない、そんな設定がまさしく蟹江町だったという感じがですね。路地裏1本をとってもストーリーがある、町全体が絵として切り取りがいのある町ですね。

かにえフィルムコミッションについての印象をお聞かせください。

レスポンスの速さとフットワークの軽さ、必要な素材を、必要なタイミングに用意してもらえるのもありがたかったです。何より、よいものを作るんだという思いも伝わってきましたし、映画って上下関係なく、チームで作るものだと思っていますので、蟹江町の皆さんはそれができのどと感じました。

藤原監督どうもありがとうございました！

キャスト



法医学者 鳥井 正敏
(市野 倅大)



刑事 小原 慶次
(西川 千雅)※西川流四世家元



容疑者 山木 大我
(秋田 卓郎)



助手 鴻上 菜南
(藤夏 ゆかり)



刑事 加藤 正通
(菅沼 翔也)

最高のロケーション

愛知県蟹江町は、日本の真ん中にある名古屋市から電車で約10分の位置にあり、東京や大阪からのアクセス抜群です。

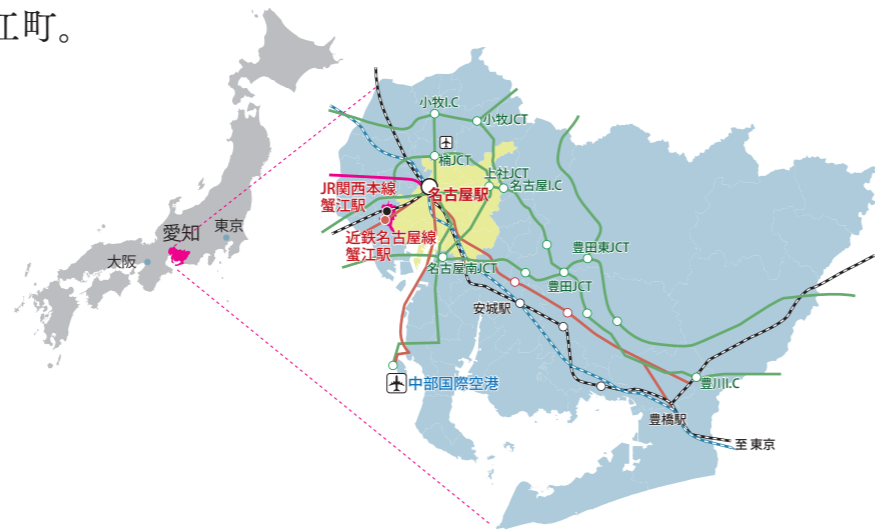
名古屋の西隣。移動に便利な蟹江町。

電車で

■近鉄名古屋線	近鉄名古屋駅	約8分	近鉄蟹江駅
■JR関西本線	名古屋駅	約10分	蟹江駅

車で

■伊勢湾岸自動車道	湾岸弥富IC	約20分	蟹江町中心部
■東名阪自動車道	蟹江IC	約5分	蟹江町中心部



6本の川が流れる水郷の町にはレトロな風景が沢山あります

蟹江町HPでは、小酒井不木の小説を現代語訳した「蟹江文庫」を掲載しております。



かにえフィルムコミッションは蟹江町で撮影される映像制作を支援いたします。

かにえフィルムコミッション事務局
(蟹江町役場 ふるさと振興課内)

HPはこちら▶



ロケ支援に関するお問い合わせはこちら。 エキストラも随時募集中!

TEL : 0567-95-1111 (代表) FAX : 0567-95-9188
Mobile : 080-4530-2103 Mail : info@kanie-film.com

かにえフィルムコミッションとは、蟹江町役場、蟹江町商工会、蟹江町観光協会が三者一体となって、蟹江町での映像制作を支援する団体です。

蟹江町によるショートムービー第3弾

Kanie Town presents the short film

ロケ地マップ

網

膜

現

像

The Mystery of Fuboku

【ストーリー】

愛知県蟹江町で起こった殺人事件。法医学者は以前より構想・研究していた「網膜現像」を駆使して容疑者と対峙する。その結果、事件はいったん解決したかに思われたが...

原作:小酒井 不木「網膜現像」
監督:藤原 知之
製作:蟹江町

「至誠無息」生涯、誠の心をもって生きよ

YouTubeにて 絶賛公開中!

第3弾
もうまくげんぞう
【網膜現像】



第1弾
【死体蠟燭】



第2弾
【安死術】



KANIE
FILM COMMISSION



御葎橋(みよしばし)

愛知県海部郡蟹江町大字須成字川西下433

助手が橋の上を歩く場面

須成祭(ユネスコ無形文化遺産)のまきわらぶね だんじりぶね 巻藁船や車楽船が通るときのみに橋桁を上げるという珍しい跳ね上げ橋です。朱色に塗られたユニークな橋で、三角形のトラス型の柱は、橋を跳ね上げるための装置です。



山田酒造/路地裏

愛知県海部郡蟹江町大字須成字下之割南1245

助手が封筒を手に歩く場面

蟹江川沿いの美しい、昔ながらの佇まい、迷い込むのも楽しい路地が沢山あります。

喫茶レモン

愛知県海部郡蟹江町本町五丁目107番地

鳥井博士の死を知る場面

どこかレトロで懐かしい雰囲気の喫茶店、泡立ちコーヒーは絶品です。ぜひお試しあれ。



蟹江町旧福祉センター

愛知県海部郡蟹江町大字蟹江新田字佐屋川東46番地

鳥井博士の部屋・遺体解剖室・会議室の場面

このシーンでは蟹江町の公共施設であった旧福祉センターを活用しました。レトロな外観は警察署や病院のようにも見え、施設内には和室や会議室、遊戯室、調理室があり、ロケ等の撮影に使用いただけます。広い駐車スペースもあり、かにえフィルムコミッションイチ押しロケ地です。



学戸やすらぎ公園 / 蟹のモニュメント

愛知県海部郡蟹江町学戸六丁目221番地

蟹江町内を流れる川をモデルとしたモニュメント時計台と長いすべり台が特徴的な公園。蟹のモニュメントは蟹江町ならではの、シンボリックな存在です。



「網膜現像」原作者 小酒井不木について

小酒井不木は蟹江町出身のミステリー作家で、大正から昭和初期の間に活躍した日本探偵小説界の草分けといえる人物です。38歳という若さで急逝したものの、彼が残した140以上の作品はミステリー界において高い評価を得ており、江戸川乱歩や横溝正史にも大きな影響を与えたとされています。



今回のロケ ~ オフショット編 ~

町のマスコットキャラクターと一緒に



和気あいあいとした撮影現場

